

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	福島県・二本松市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	二本松市文化遺産活用事業		【計画の改善時期】
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
平成 28 年度から実施する新二本松市総合計画「二本松を元気に！新 5 ヶ年プラン」（平成 27 年度策定）にある基本目標「郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち」のなかの施策の大綱「歴史と文化を活かし交流人口をふやす」を踏まえて、地域の文化遺産の次世代への継承・発展や、文化遺産を活用して地域活性化を推進するため、次の事業を実施する。また、計画期間中、以下の取組を通じて、行政と民間団体、文化財保護団体による連携・協力体制の確立を目指す。 （１）無形民俗文化財及び伝統的文化の後継者養成 （２）伝統文化事業の充実			
6 実施体制			
本事業については、二本松市が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。 教育委員会文化課：文化財の取扱等に関する指導等 また、事業の実施については、次の団体が実施。 二本松市文化遺産活用実行委員会 構成団体（石井芸能保存会、若宮文化遺産活用実行委員会、松岡若連、竹田祭典委員会、亀谷若連会、田沢熊野神社太々神楽保存会、三渡神社太々神楽保存会、前東若連、杉沢愛宕神社三匹獅子舞保存会、石井ふる里おこし連絡協議会）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 115, 797 千円	平成30年度申請額： 12, 429 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
本計画に基づく事業の実施により、市民の伝統文化に対する関心や意識が向上し、地域の文化遺産の保存と、次世代への確実な継承とともに、地域の活性化が期待できる。また、地域の文化財保存団体、二本松市教育委員会が連携し、様々な事業、情報発信を行うことにより、観光客の増加に寄与することができる。 市が掲げるおもてなし観光の推進（観光客数目標 3 5 0 万人）のうち、平成23年から平成32年までに今回の計画による観光客 2 万人増を目標とする。また、後継者の養成を行い、各芸能団体で 3 名以上の会員獲得を目指す。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
本事業の実施により地域一体となって保存・活用を図る機運を醸成し、平成 3 4 年度を目途に歴史文化基本構想の策定を目指す。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	二本松市教育委員会文化課文化振興係		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 1 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 1 :	ふるさと芸能祭の参加団体の保存会員数	関連事業:		石井ふる里おこし連絡協議会普及啓発事業	
目標値 1 :	平成 28 年度	200 名	⇒	平成 33 年度	200 名
設定根拠 1 :	石井地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定				
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
名	名	名	名	名	名
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 2 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 2 :	藤蔭流満樹会会員数を増やす	関連事業:		日本舞踊普及啓発事業	
目標値 2 :	平成 28 年度	15 名	⇒	平成 29 年度	15 名
設定根拠 2 :	二本松地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定				
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
名	名	名	名	名	名
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 3 :	二本松提灯祭り継承保存会の会員数	関連事業:		伝統文化継承基盤整備事業	
目標値 3 :	平成 28 年度	369 名	⇒	平成 33 年度	369 名
設定根拠 3 :	二本松地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定				
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
名	名	名	名	名	名
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 4 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 4 :	太々神楽・三匹獅子舞等の保存会の会員数	関連事業:		伝統文化継承基盤整備事業	
目標値 4 :	平成 28 年度	250 名	⇒	平成 33 年度	250 名
設定根拠 4 :	二本松市の人口の社会減の状況から、現状維持を設定				
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
名	名	名	名	名	名

目標区分 5 :	地域の文化資源を活用した集客・交流				
評価指標区分 5 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 5 :	ふるさと芸能祭・ふるさと盆踊りの入込数	関連事業:	石井ふる里おこし連絡協議会普及啓発事業		
目標値 5 :	平成 29 年度	600 人	⇒	平成 33 年度	600 人
設定根拠 5 :	石井地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定				
進捗状況 5 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
600 人	人	人	人	人	人
目標区分 6 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 6 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 6 :	二本松提灯祭り継承保存会の会員数	関連事業:	伝統文化継承基盤整備事業		
目標値 6 :	平成 29 年度	369 人	⇒	平成 33 年度	369 人
設定根拠 6 :	二本松地区の人口社会減の状況から、現状維持を設定				
進捗状況 6 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
369 人	人	人	人	人	人
目標区分 7 :	伝統文化の継承体制の維持・確立				
評価指標区分 7 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 7 :	太々神楽・三匹獅子舞等保存会の会員数	関連事業:	伝統文化継承基盤整備事業		
目標値 7 :	平成 29 年度	250 人	⇒	平成 33 年度	250 人
設定根拠 7 :	二本松市の人口社会減の状況から、現状維持を設定				
進捗状況 7 :	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
250 人	人	人	人	人	人

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	石井ふる里おこし連絡協議会普及啓発事業	実施団体：	石井ふる里おこし連絡協議会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	石井ふる里おこし連絡協議会が開催する「ふるさと盆踊り」と「ふるさと芸能祭」イベントで、地域活性化を目指す。					
評価指標区分：	・フェスティバル出演団体の保存会会員数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	盆踊りの継承者と芸能祭出演会員の増加					
目標値：	平成 28 年度 200 名 ⇒ 平成 33 年度 250 名					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
230 名	名	名	名	名	名	
事業②：	日本舞踊普及啓発事業	実施団体：	藤蔭流満樹会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	藤蔭流満樹会が実施する日本舞踊公演					
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	協賛企業や団体、賛同者を得て自主運営を目指す					
目標値：	平成 28 年度 0 団体 ⇒ 平成 33 年度 10 団体					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
22 団体	団体	団体	団体	団体	団体	
事業③：	伝統文化継承基盤整備事業	実施団体：	白鳥神社太々神楽保存会			
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	白鳥神社太々神楽保存会で継承している 16 演目の笛及び太鼓の音源から音符を作成し、それを譜面化して記録し、冊子を作成する。					
評価指標区分：	・保存会会員数の変化（維持）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	楽譜を作成することで、会員の技術の向上が図られ会員数の維持を目標とする					
目標値：	平成 29 年度 20 人 ⇒ 平成 33 年度 25 人					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
16 人	人	人	人	人	人	

事業④： 伝統文化継承基盤整備事業		実施団体： 石井芸能保存会、松岡若連、若宮文化遺産活用実行委員会、田沢熊野神社太々神楽保存会、杉沢愛宕神社太々神楽保存会、三渡神社太々神楽保存会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	各保存団体が地元のOB等から囃子や踊りを習い受け次の世代へ確実に継承できるよう囃子や踊りを覚える。				
評価指標区分：	・ 保存会への新規入会者数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	新規会員を増やして、保存会の存続を図る				
目標値：	平成 29 年度 20 人 ⇒ 平成 33 年度 30 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
30 人	人	人	人	人	人
事業⑤： 伝統文化継承基盤整備事業		実施団体： 石井芸能保存会、錦町八坂神社太々神楽保存会、松岡若連、竹田若連会、竹田祭典委員会、若宮文化遺産活用実行委員会、二本松神社例大祭郭内祭典委員会、田沢熊野神社太々神楽保存会、亀谷若連会、三渡神社太々神楽保存会、暴れ山車前東若連			
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	各保存団体が祭礼等で使用している衣装や用具を次世代まで継承していくために、用具の修理や新調を行う				
評価指標区分：	・ 祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	参加住民の地域に誇りを持ってもらい参加住民数を増やす				
目標値：	平成 29 年度 2,000 人 ⇒ 平成 33 年度 3,000 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
2,200 人	人	人	人	人	人
事業⑥：	石井ふる里おこし連絡協議会普及啓発事業		実施団体： 石井ふる里おこし連絡協議会		
事業区分：	普及啓発		事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	石井ふる里おこし連絡協議会が開催する「ふるさと芸能祭」イベントで、地域活性化を目指す。				
評価指標区分：	・ フェスティバル出演団体の保存会会員数			(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	芸能祭出演会員の増加				
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 200 名 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 250 名				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
230 名	名	名	名	名	名
60%					